



第 132 号  
令和 6 年 11 月発行  
長野県  
社会福祉事団  
信濃学園  
〒390-1401  
松本市波田 4417-8



特集  
信濃学園の  
取り組みについて

【安全計画の変更手続きについて】

支援課長 小松聖司

安全計画上、10月には「主なインシデント報告」ですが、少し整理してから掲載します。今回は「安全計画の変更手続き」についてとりあげます。

ごども家庭庁の通知には「定期的に安全計画の見直しを行う」ようにとの記載があります。抜けていた部分の追記はもちろん、想定外のこと起きた場合に計画に入れるか否かの検討が要請されています。すべてを入れてマニュアルが厚くなること「配布されたらロッカーに入れら

れっぱなし(前号参照)」で活用されなくなります。かといって必要なことが抜けると安全が担保されません。見直しの手順を考えるにあたって、6月に発生した熊の出没という想定外のことを例に、①頻度、②深刻度、③その他、で考えてみました。頻度は、近10年で初めてなので低い。ただし、全国的に報道されているとおり注意は必要です。

深刻度は、襲われたら大人でも大けがしますが、熊が学園に到着する前に防災放送が流れるから(6月も流れました)、すぐに建物内に入って施設すれば問題はなさそうです。

その他は、計画にある蜂・蛇と比較してみます。蜂はたくさん飛んでいるし危険です。蛇は学園では近10年の事例はありませんが、すべて近くに林があつていつ出没しても不思議ではありません。また、ごども

もたちの目線から(大人と比べて)物理的に近くに生息する危険生物で、熊のように防災放送はないので逃げる時間がありません。出現実績はないが出現する可能性はかなりの高い環境にあるし、噛まれたら大変だからと考えて計画に入れました。こころ考えた結果、熊は出現頻度が増えたら計画に盛り込むことにしました。

今後の見直しについても、上記のような考え方ですすめていきたいと思えます。



【地域移行支援への取り組み】

係長・支援調整担当 佐藤 憲司

地域移行支援とは入所している児童に対して、適切な時期に地域での生活を開始できる様サポートする取り組みです。

これまで信濃学園では退所前には、入所施設やグループホーム、

自宅等の生活の場や生活介護事業所、就労継続支援事業所等日中活動の場を利用者さんやご家族の意向をお聞きしながら、学校や児童相談所、市町村等関係する機関と協力・連携し、見学等地域での暮らしにむけて支援してきました。

具体的には15歳(中学3年)時に移行に向けた支援会議を開催し、関係の皆様と方向性を共有し、高専部に進学後もその都度支援会議を行い、移行支援の方向性を確認・共有しています。共有された支援の方向性によって学校での教育活動や利用者さん個々に合った障害福祉サービスマ事業所等での実習などの経験を積み重ねます。学園においてもコミュニケーションや生活していくための様々な力の獲得支援、社会体験の場面が提供され、利用者さんが将来を選択していく基礎となっております。

高等部の利用者さんは地域に出ていくためにいろいろな不安や緊張を感じながら経験をしています。楽しく体験する方やときには気持ち



ちが落ち込む方もおられます。利用者さんの様々な経験を優しく見守り、励ましながら、社会に踏み出す第一歩を応援したいと思っています。今後とも皆様のご協力、よろしくお願いいたします。



【感染症予防対策について】

看護師 上島 知恵

常日頃大変お世話になっているこども病院よりお話をいただき、感染対策に関する協定を締結いたしました。

こども病院と協力して感染症予防対策を実施することにより、感染症の拡大を防止し、利用者さんの安全を確保することを目的としています。

主な内容といたしましては、学園の職員に対して、実地指導及び感染対策に関する助言・指導、研修会の実施で、新興感染症が発生した場合

も同様となります。

こども病院感染制御室 感染管理認定看護師2名の方が学園に打合せにお見えになった際は、実際に所内をご覧になり、「ご助言」「指導」いただき、早速実施できることから改善に向け取り組んでおります。

信濃学園は多くの関係機関のご協力に支えられており、それが利用者さんの安心・安全にも繋がっているのだと感じます。改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。



【信濃学園での取り組みについて】

のびろ祭実行委員長 青木 翼

信濃学園は、生活の場です。学園で多くの時間を過ごす利用者の方に向け、余暇活動や学園行事として季節に沿った活動を、年間を通して提供しています。

信濃学園で一番大きなイベントと言えば、のびろ祭です。今年度は、

松本養護学校信濃学園分室体育館の改修工事もあり、例年であれば9月下旬ごろの開催ですが、今年度は11月2日(土)に開催となりました。ハロウィンの時期でもあった為、今年のテーマは「ハロウィン」

として、のびろ祭での分室生の発表でもハロウィンをテーマに生徒や先生方が仮装し、とても印象に残る発表が見られました。実行委員もテーマに沿って仮装し、のびろ祭を盛り上げました。また、物販は利用者の方の体験を目的に支援員が付き添い販売体験をして頂き、お客様への対応や販売を体験し、販売係としても大活躍でした。参加された方々や準備段階からご協力頂いた方々の助けもあり、皆さんが楽しんで頂けたと思えるのびろ祭となりました。

改めて信濃学園での行事が何事も無く行えるのも普段からご理解及びご協力を頂いている方々がいるからであると感謝しております。今後も利用者の皆さんに楽しんで頂ける行事や余暇活動を企画し、笑

顔が絶えない信濃学園となるように取り組んでいきたいと思っております。

新任職員のご挨拶

支援員 木ノ本 美恵



- ①趣味・特技
- ②セールスポイント
- ③一言



①創作料理・どこでも寝れること  
 ②あきらめない事  
 ③三年間、派遣職員としてお世話になっていましたが、六月より信濃学園の職員となり勤務しています。支援を通して、利用者さんから学び事もたくさんあり、日々過ごしています。利用者さんがこの先迷う事なく生活していけるよう支援していきたいと思っております。

よろしくお願いたします。





のびろ祭 part 1





## のびろ祭 part2



信濃学園ホームページアドレス

(不)

長く暑い夏が終わり、秋の気配を感じる間もなく、駆け足で冬が近づいてきました。冬にもたくさん行事があります。皆さんと共に楽しみたいと思います。

### 【編集後記】

【お知らせ】  
満足度調査につきまして  
は、令和7年1月頃ホームページに掲載予定です。

【利用者の動向】  
11月1日 こまぐさ寮利用者  
1名  
◎1名の利用者さんが退所しました。